

日本共産党
流山北部後援会

ニュースあすなる

2020年8月
第258号

発行責任者

菊池 伍郎

TEL/FAX

7154-0526

小倉 卓郎

TEL/FAX

7155-0272

(部内資料)

「市民の声届け」議員団奮闘
第33回 植田和子 議会報告

医療も仕事も窮地に！

と訴え、一般質問無しでもコロナ対策を前進させるため、本会議や委員会でも補正予算の修正動議を行って市内医療機関への支援と地域医療の崩壊を防ぐために提案しました。

萩原正臣さん（東葛病院事務局長）「現状は今まで経験をしたことがない事態です。感染症が拡大し、発熱外来は2月中旬から区分けして外来受診を行いました。発熱者が増えてきて外にテントを張って対応。受診を控える人が増えて患者さんは2〜3割減、救急外来は半減に。手術も延期したり健康診断も自粛となり経営が大変な状況になりました。」

第33回 植田和子 議会報告会を7月26日午後、北部公民館2階大会議室で行いました。当日はコロナ対策を徹底し、検温・消毒、間隔をあけて椅子を配置しました。植田和子議員は6月議会が、コロナを理由に一般質問は無し、委員会審査も時間も期間も短縮されたことを報告。日本共産党市議団は「コロナで大変な事態となっている今こそ、市民の声を行政にしっかりと届けるべき」と訴え、一般質問無しでもコロナ対策を前進させるため、本会議や委員会でも補正予算の修正動議を行って市内医療機関への支援と地域医療の崩壊を防ぐために提案しました。

安倍首相にコロナ感染防止の申し入れ！

新型コロナウイルス

安倍首相に申し入れ。

の急速な感染拡大を防止するため、日本共産党の志位委員長が7月28日に、

①感染震源地を明確にし、その地域の住民、在勤者の全体に対して、P

再稼働やめ 原発から撤退を！！

外フェスティバルの仕事をしていました。コロナが始まって、2月位から海外からの企画に影響が出て3月に入ってから以降、4〜6月のスケジュールが全くなくなりました。東日本大震災の時は、自分たちが2カ月自粛しました。その後は復活しましたが今回は見通しがつかない事態です。感染が拡大し、発熱外来は2月中旬から区分けして外来受診を行いました。発熱者が増えてきて外にテントを張って対応。受診を控える人が増えて患者さんは2〜3割減、救急外来は半減に。手術も延期したり健康診断も自粛となり経営が大変な状況になりました。」

高野洋さん（舞台制作家）「コンサートや野

参加者の声

告会では植田和子市議と東葛病院の事務局長とイベントの仕事をしているフリーランスの若者のお話を聞くことができました。実際の話を聞いて、政府に何して欲しいんだ！と

CR等検査を実施する。②地域ごとの感染状況の情報を、住民に開示する。③医療機関、介護・福祉施設、保育・幼稚園、学校などの施設に勤務する職員等への定期的なPCR検査を実施する。④検査によって明らかになった陽性者を隔離・保護・治

こんにちは 植田和子です



7月31日今日、9回目の申し入れをしました。総合政策部長と秘書広報課長が対応しました。流山市のコロナ対策本部会議は6月末以降、開かれていません。連日、感染者が発生しています。行政を動かすには、みなさんの声が必要です。引き続き、市長への手紙や秘書広報課へのメール、電話で、市民の声を届けてください。よろしくお願いいたします。

8月3日 2日の教育福祉委員会の協議会で、市教育委員会の担当課長から国民の命とくらしを守るために回せ！と心から思いました。花山

療する体制を緊急につくりあげ。以上の4点を要請しました。

③クラスターを発見したら感染震源地化した地域を特定し、PCR検査の範囲を徹底して広げ、点と線から面へ。無症状の感染者を見つけていく

こと、それが「防疫」になります。

厚生労働省が方針転換

厚生労働省は7日、医師会や地域住民、日本共産党の申し入れから、PCR検査を拡大することに方針を転換しました。国民の声が生きました。

ヘッドライト

エアギターと言う芸がある。ギターを持たずに（空、エアで）ギターを弾いているフリで派手なパフォーマンスをして楽しませる。

世界大会も開かれ、日本人が何度も優勝している。落語でソバを食べるふり、ドジョウ捌いなども、昔からある楽しい芸だ。しかしエア政治となると話が違ふ。やってくるフリだけ国民に見せて中身は空（エア）。

無策が国民に亀裂の危険

女性活躍、介護離職、言葉だけが空疎に響くが中身は何もない。外交も経済もフリーだけに成果なしだ。コロナ対策は何もなにかそのために莫大な国民の税金が使われている。あれだけ愚策と批判されたのに、また追加のマスク。皆が呆れているのに政府は妙案だと思いつく。その独断的感覚で国防もミサイル防衛破綻したらなんと先制攻撃力保有。安倍一強と言われながら無策と迷走。国民はどこへ行けばいいのかわからない。早く引き返せ。原発、リニア、辺野古。国のリーダー不在の中で国民の間の亀裂が深まるのがこわい。

日本共産党
流山北支部

大規模住宅開発とゴミ問題で対市交渉！

「工事への苦情」は宅地課へ

平方市営住宅跡地と美原4丁目で各5千平方メートル近い大規模土地開発が計画されています。同地域では下水道工事も予定されており、住民の間では工事中のトラックの搬入や振動、騒音などへの不安の声が上がっています。共産党は市に対し、工事業者等への指導、各工事が重なることを避ける調整を要望しました。当局は工事時期の調整は行う、具体的問題が発生した場合宅地課に通

報してほしいと回答しました。

クリーンセンターの体制強化を

先般、クリーンセンターは家庭からのゴミ搬入を制限する措置をとりました。人口増に伴うゴミ処理体制が不十分であることがはっきりしました。焼

市のPCR検査対策？？？

市長からのメッセージが8月7日に2ヶ月ぶりにあり、流山市のPCR検査体制について知らせがありました。

【要旨】流山市医師会・市内医療機関のご協力のもと、市独自のPCR検査センターを、今年19日から、ドライブスルー方

却炉の長
寿命化計
画や「災

式で（週2回を予定14時から15時）再開します。検査センターでは、かかりつけ医から紹介された方を対象に、保険診療（医療費3割負担の方で約900円）にて検査を実施します。ツイッターや市ホームページ、また21日の「広報ながれやま」で、ご案内いたします。さらに、9月からPCR検査体制を大幅に拡充する方向で、準備を進めています。

検査拡大により、隔離が必要となる軽症者・無症状者の療養ニーズの増加が予想されますが、千

薬県が県内5か所に、大規模ホテルを確保していますので、県と適時、調整してまいります。万が一、学校・学童・保育施設で児童生徒や園児、教職員や指導員・保育士などから、感染者が発生し、濃厚接触者が1人でも確認された場合は、感染者のクラス全員、感染者と関わった教職員・指導員・保育士、感染者が所属するクラブ部員全員のPCR検査を、流山市が負担して実施します。

読者からのたより

◎雨上がりに外に出るとどこからともなくミンミンとセミの声。今年初めてだ。それから二、三日後、森のそばを通り過ぎようとすると、聞こえるのは、蝸（ひぐらし）のなき声。梅雨明けは遅れ、セミの出番も遅れ、あまり遅れると出番がなくなる。蝸は焦ったのか。あ。このす台M・K。◎「アベノマスク？」知らない！病院に物資の補助をしてほしいというところにお金を使っている！「今後もうこうい

◎PCR検査体制を充実してほしい。国は一緊張感をもって」と言うが、あんならの方が緊張感がない。国からのメッセージが国民に届いていないね。◎「キャンペーンはいいでもない！タイミングが悪い。東深井Y。◎「みんな集まり、食べたり、話したりはダメ？それが楽しさで生きているのに。ウイルスに負けない免疫力を高める事と何としても早く「治す薬」と「ワクチン」が来てほしい！東深井K

「50年ぶり」我が家にも

7月25日の夕方猛烈な雨が降った。すごい雨だ。思ったが短時間だった。たの気にも留めなかったが翌日早朝、玄関を出るとガレージの前の段差プレート5枚がごっそりなくなっている。隣も7連のプレートが1枚残った。家の近所を探し歩いてみるとそれぞれ10mから30mも先に流れ着いているのを発見。プラとはいいこんなのを浮き上がらせて運んでしまうほどの冠水。聞くところによると他の地域でもかなりの道路が冠水している。



右のようなプレートが左になくなった。だ。め。は。な。こ。る。で。住。年。何。十。

50年ぶり？
(江戸川台東K)

市民の声がやっと届いてきたのか？

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぶ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円

あなたも読んでみませんか。
知りたい情報満載です。

あすなろ川柳

●国民と

通気性なし

アベノマスク

●二波、三波

よりも気になる

●派

コロナよりも党内のポスト安倍の派閥の動きが気になりな総理

●ミサイルが

ダメなら 敵地に

乗り込むぞ

敵基地攻撃出来ないからミサイルにしたはずなのに

平和願う夏



平和行進 おおた
かの森駅での集会

8月6日広島、9日長崎、それぞれの平和祈念式典で、市長たちは核兵器廃絶のため日本政府に核兵器禁止条約の批准を強く求めました。子ども代表は「未来に核兵器は必要ない」と平和への誓いを高らかに宣言しました。核兵器禁止条約の発効まであと7ヶ国となり、核保有国を追いつめ、あと一歩です。戦争被爆国の日本が先頭に立って核廃絶を訴えるよう願います。今年はコロナ禍で平和のイベントがオンラインで行われることも多く、平和行進も人数を制限して集会だけになりました。写真右に掲げられた横断幕は北海道から東京まで引き継がれました。全国を繋ぐ「平和の波」の力で世界の平和を!!! 美原 K

戦争の記憶

5歳の7月末、終戦直前に青森市内で空襲にあり、兄に背負われて田舎へと逃げました。三内にある親戚に身を寄せたのですが、馬小屋みたいなところで生活すること。食料もなかなか手に入らず、苦労しました。青森県でも米が手に入りにくく、おかゆや海草類で飢えをしのいでいて、まづかった記憶があります。お米はほとんど軍に供出させられていたようでした。ここのす台 O

2020 平和のための戦争展「とうかつ」
9月6日(日) マスク着用

アミュゼ柏クリスタルホール

開場13:30 開始14:00

記念講演：日本の政治はどこへ向かうのか

講師 白井 聡

講演の参加には参加券が必要です
「フラダンス」「朗読・梨の花」出演



8月8日 蝉の羽化に遭遇 高木